

# 紫 筍

第 34 号

平成 3 年



新校舎南西からの写真（5階左・音楽室，右・美術室。1階右・図書館）

都立文京高等学校同窓会会誌

1991年12月20日刊

# 目次

## 奨学金申込者

(一口 五千円)

表紙写真 新校舎南西角を中心に……………表 1  
目次・奨学金申込者……………表 2

直撃 「動物学と人間学」

インタビュー

女子栄養大学教授

一期C組 小原秀雄さん……………1 3

太田敏夫先生(国語)退職御挨拶……………4 6

異動、横山正明先生計報……………6

五十周年記念 記念行事について……………7 10

新校舎落成

資料用原稿用紙の一例……………11 12

住所不明者・クラス別掲載(一次)……………13 17

幹事会、紫雲祭の写真……………18 19

進路状況・就職状況……………20 21

同窓会協賛者名刺……………22 表 3

会計報告・後記……………表 4

## お知らせ

新聞広告に、学校関係の記事を特集するので、協賛してほしいと、数万円の寄付をつのる業者がありますが、郵便振込先が

東京 0-62011

東京都立文京高等学校同窓会 宛でな

いものは、学校・同窓会の依頼ではないです。

## 四口

渡辺 剛彰(一A)

## 二口

川端 嘉幸(一A)

鈴木 孝(13C)

森 康全(2B)

高橋 久徳(二B)

北島 慎一(7C)

矢島 稔(3E)

藍原 康裕(一C)

平山 修一(7D)

丸山記久麿(8B)

古澤 圭祐(25F)

宮田 淳(8B)

小島 康正(18J)

福田 安次(一D)

征矢 昌之(26C)

松原 紀文(11A)

弓削 博資(16H)

森 有功(3A)

小杉 茂夫(19A)

椎橋 章二(6A)

椎名 健二(5E)

鈴木 秀男(8B)

大辻 正寛(7D)

鶴田 熙(一C)

時田 公代(26C)

神戸 善裕(3C)

長谷川(大郷)節子

(5C)

山崎 憲司(31G)

和田 匡弘(38B)

大場林(みよ子)(22A)

永山 升三(三E)

菊池 達長(四C)

信田 重昭(一AB)

山澤夫司雄(3B)

長福 秀子(22G)

仲田 達男(三D)

富永(松田)泉(34E)

仲田 晋(9F)

高里 良友(1AB)

大橋 元紀(18D)

芳井 巖(四B)

持永 和明(23C)

石山 和夫(一D)

天川 博央(8E)

福島 清行(3D)

多田 実(6B)

田卷 正彦(11C)

羽場 弘明(27C)

鈴木 晴夫(11F)

関根 光夫(3E)

山田 昭夫(12C)

磯田 信一(14F)

清野 公夫(6B)

塩見 好一(41D)

田中(小笠原)道子(19F)

武田 正人(31F)

小林 勇(四C)

大久保博康(11F)

猪谷 幾子(6E)

荒木ラン子(19F)

畝(永井)道子(7A)

山中 秀男(一C)

所 矩雄(9A)

丸山 博正(4B)

渡井(丸山)勝範(19I)

石井 孝芳(32F)

本年は奨学にふさわしい成果を残された36名の方々に、一万円の図書券をさし上げました。

第16弾

動物学から

人間学へ

一期C組 小原 秀雄 さん

Q、文京高校の思い出、佐々木先生  
A、当時は戦時中ということもあって、朝授  
業の前に裸体操というのをやらされました。



冬でも裸になって乾布まきつをして、そのあ  
と声をかけながら学校の周りを走りました。  
でも何かと理由をつけては、「今日ほだめで  
す。」といて逃げまわっ  
ていたという思い出があり  
ます。それから、一列励行  
して登校するのに、近くに  
あった女学校の女の子たち  
がはやしたりするので、恥  
ずかしくてしょうがなかつ  
たこともありました。とい  
うように、先生にしかられ  
るような話は山ほどありま  
すよ。

もう一つ、英語の先生で  
佐々木先生という先生がい  
まして、当時戦時中でした  
から英語は敵性語だといっ

昭和20年(旧制一期)卒業後、国立科学博物館動物学助  
手から、著述業を経て、昭和44年女子栄養大教授(生  
物学)。「都市化・文明化による人間と動物の変化」  
をテーマとし、人間による野性生物の絶滅や全体  
的な動物界の変化に着目し、環境科学的な野生  
動物の保護論を展開。ボランティアとして、  
野生生物の取引を監視する民間団体の委員  
長などを務め、通産省や環境庁など  
お役所には、けむたい存在。

プロフィール

国連環境計画(UNEP)のグロー  
バル500賞を受け表彰される。  
国際自然保護功労賞をWWF総  
裁フィリップ殿下エジンバラ  
公より受ける。

てあまり教われなかったのに、その先生は英  
語は必ず役に立つことがあるという信念をも  
っていて割り合いきちんと英語を教えてくれ  
ましたね。

Q、思い出に残る渡辺・堀内各先生

A、ええ、渡辺先生という歴史学の先生です。  
そのころの歴史は、歴代の天皇の名前をおぼ  
えたりするのに、渡辺先生は、南朝北朝の話  
だとか教科書に書いていないことを教えてく  
れておもしろかったですね。

それから、2年生の時の担任だった堀内先  
生。授業が始まる前にさわいでいると、先生  
の中には、しのび足で来てコラと怒鳴る先生  
がいるのに、堀内先生はね、わざとだと思っ



んだけど、非常に大きな音のするスリッパをはいてきて、階段を降りるあたりから「ボタンボタンと音がするもんだから「堀さん来るぞ。」というわけでみんな静かにしているんですよ。そういう心のいき届いたあつたかいところのある先生でした。

あと印象に残っているのは、ぼくはその頃から動物学をやろうと思っていたから「みんな何になる」って聞かれたときに「動物の探検家になる」と言ったんですよ。その頃は「軍隊に行く」とか「先生になる」というのが多いですよ。だから他の先生だったら「バカなことを」になるかもしれないけど、堀内先生は「それはおもしろそうだ」といつてくれて、先生の家に遊びに行つたときも、いろんなことを聞いてくれたんですよ。そして真面目に聞いてくれました。

ですから、今もそうかもしれないけど、ユニークな先生方がかなりいましたね。それと、ぼくはどちらかというところからのことばかり考えているものですから、昔のことを思い出すことは少ないんですよ。それに懐しがるのはそれほどいい事とは思っていません。

Q、西岡先生(同級)は、どんな方でしたか。  
A、真面目な人でしたよ。自分では思っていないかもしれないけど、一生懸命勉強してい

ました。

Q、動物学を本格的に勉強したのはいつ頃ですか。

A、ぼくは、兵学校に入るところまでいって、終戦になってしまつて、大学に行こうとも思わずにぶらぶらしていましたよ。この世のどのようなふうに生きていこうかと思ひました。結局、どうしても博物館に入りたいたって当時通つていた博物館に入れてもらったのが動物学へのかかわりの出発でした。

当時は、戦後だったのでそんなことをやる人はいないへん少なかったです。食べる物もなかったときに、そんなところへ就職して、消毒のにおいをする暗い部屋に入って、一日中動物の骨だとか、皮だとかいじっているなんて考えられないですよ。

それに博物館なんか見にくる人もほとんどいないし、第一標本は、疎開したままで戻つてこないから、仕事がないので、勉強してなさいといわれました。だから、朝から夜までただひたすら本を読み、骨やはく製をいじっているというのを何年もしていましたね。

Q、動物を見に海外へ行つたりしますか。

A、ええ、アフリカには毎年行きます。今まで何ヶ国ぐら行つたかこの間数えてみたら、42か43ヶ国は行きましたね。大陸は南極を残

して全部行きました。戦後の海外旅行は大変で一人500ドルしかもって行っはいけないとかそういう時代でしたね。ナイロビアにまだ日本人が6人しかいない時でおもしろかったですよ、その頃は。

初めアフリカに行った時、もっと動物がたくさんいると思ったらいなとわかり、また外国での国際学会などに参加して、いかに日本がそういうことに無関心でいたかとなりました。

Q、外国に行って主に何を見て来るのですか。  
A、いろいろな国に行って必ず見るところは、博物館、動物園それに野生動物がいるところ。博物館というのは、展示してある標本のほかに必ずたくさん標本をストックとしてもっています。大英博物館には、哺乳類について10万点ぐらいの標本があります。そこに一カ月ぐらい泊まって全部見ました。日本人では、ぼくだけです、それを見たのは。頭の骨ならその部分を手にとって見れる、体の内部まで見ることが出来るのが博物館です。動物園は、耳の動きや目の動き、細い動きを見ることが出来ます。野生の動物のいるところでは、それらがどういう状態で、どういうところにいるかを見ます。

Q、それらの研究から考えていること、テ1

マは何なのでしょう。

A、人類というのが、今もしも本当に自然破壊というのをやっているとすれば、地球上の中でいったい、一つの動物の種である我々は、何のために地球の中に出現してきたのだろう、いったい自然界の中でどういう役割をする種なのか、ぼくは気になりますね。

人というのが自然の中でどういう位置にいるのか。今、この答えをもっているわけではないし、答えがでないかもしれません。ただ、人間というのがどういう存在なのかと考えたときに人というのは、本能がほとんどなく、学習で習得していくと考える人が多いが、実は、人間も動物と同じように、教えられなくても、赤ん坊がかわいいと理屈ぬきに思うことにみられるような本能を生まれつきもっているということをあきらかにしている人を知ります。

そういうことを勉強してくると、人間は、心の奥に自分では気づかずに動物としての本能をもっているのではないかと思えます。そして、都市や文化を作る時に、我々は体の中にもっている種としての人間にとって自然なものをプラスして作っていかなければならないんじゃないかな。そうしないから、現在の機械文明みたいな世の中に対して、なんか

ちよつと自分たちが、不適合をおこして、おかしいんじゃないかと思うのではないか。

だから、我々は都市計画とかそういうたものの中に生物としての性質みたいなものを入れた自然文明を作り出していかなければいけない。そのためにも、人間というのは、内側に自然というものをもっている存在だということをいろいろな形で都市計画の人たちに言わねばならないと思っだしてきました。

今回のインタビューは、大変お忙しい中を一時間半にわたり、先生のお宅でお話を伺いました。ご協力ありがとうございました。学ぶことの深さを教わったような気がします。松岡克幸(23期F)、佐野智美(23期F)、渡部曜(23期H)が伺いました。

#### 一般向著作

「怪獣もし戦わば」KK「動物のころを探る」玉川大。「ツルはなぜ一本足で眠るのか」(共著)草思社。「ライオンの尻尾にはトゲがある」光文社。「ネコはなぜ夜中に集会をひらくのか」花耀社。「動物たちの社会を読む」講談社。「教育は人間をつくれるか」農文協。その他多数。

## 離任式挨拶

平成三年三月二十五日

太田 敏夫

### この場所豊島が岡

きょうは最後ですので、皆さんお集まりのこの場所の話をして、挨拶に代えたいと思います。

皆さんの中にも、この場所で生涯忘れられないような経験をした人は大勢いるのではないかと思います。体育の授業で初めてバツ転が出来たとか、運動部の練習でどんなことがあったとか、スポーツ大会でどうか、あるいは創作ダンスの発表会で最優秀賞に輝いたとか、忘れられない思い出をすでに持っている人もあろうし、この一年にそういう経験をする人も少なからずいるでしょう。



### 一度きりの卒業式

私もこの場所には忘れられない思い出があるんです。私は自分の生涯でたった一遍卒業式というのを経験したんですが、それがこの場所だったんです。生涯に一度きりしか卒業式をやらないうちで、おかしと思う人がいるかも知れませんが、小学校の卒業式は空襲警報発令のために、取り止めになりました。昭和二十年の三月といえますと、三月十日には東京大空襲、一口に十万人の人が死んだと言われるんですけれど、ほとんどが女子供、年寄りといった非戦闘員、焔に逃げまどって大勢の人たちが亡くなっている。その直後に私は小学校の卒業式を迎え、空襲警報のために結局は中止ということになる。では中学校の卒業式はどうしたのか？ 中学に入ったら戦後学校制度が変わって、そのまま高等学校になって、ですから中学校の卒業式はない。大学はどうしたんだ？ 大学ではたしかに卒業式はあったのですが、私はたまたま別の大学に勉強に行っていて、欠席したわけですから、ここで行われた卒業式が私にとっ

### 文京区内で間借り

私がこの学校に入った時に、この学校は豊島中学と言いました。その前は市立三中。市

立一中は当時九段中学と言っていました。現在の九段高校です。市立二中は上野中学と言っていました。今の上野高校です。ですから、市立三中が豊島中学になり、本当なら今頃は豊島高校と呼ばれているのが順当であったはずですが、これも戦争で学校が焼けて、文京区内にあちこちと間借り生活をして、その間に事情が生じて文京区内に新しい校地を定めて、という話になった訳でしょう。結果的には又ここに戻ってきたわけですが、ス Copp・ツルハン

私が入学した時に、この場所に何があったか、何も覚えていません。多分私が入学したその晩だと思っていますが、この学校は焼け落ちました。もちろん、空襲です。この辺り一帯すべて焼け野原です。大塚駅のホームから富士山がよく見えました。で、私たちはどうしたかと言いますと、焼け跡片付けに通ったわけです。ス Copp だとかクワだとか、私は割に最近まで線路工夫が使っていた重いツルハシを担いで通いました。電車もみな焼けてしまいましたから、歩いて通ったわけです。高校一年生ではないんですよ。中学校の一年生、しかも食料事情が悪くて痩せこけた中学一年生、それが重い工具などを担いで、私も四、五十分歩いて通いました。考えてみます

と、授業料を払って毎日重労働に通ったというところで、皆さんにはとても想像がつかないと思うんです。

### 苦難の歩み

やがて五月に私の家も焼けました。母親は病院に入院する。父親は仕事に出なければ食っていけない。焼け跡の防空壕に五つの弟——その弟も後に文京に入ります。——と十三の私が残されて、お昼には、例えばサツマイ



モの粉を練って天日に乾かして煎餅のようにしたものを七輪で焼いて食べる、といった生活ですから、とても学校に通うどころではない。

そのうちにこの学校は江戸川橋から急な坂を上がった、椿山荘に行く途中の関口台町小学校に引越しをしました。間借り生活です。そしてまた、そこから、生徒たちが長い列を作って、手に手に机や椅子を持って、江戸川橋から飯田橋、飯田橋から水道橋、そして都立工芸高校と能楽堂との間の急な坂を上って本郷元町小学校に引越しをしました。やがて中学が高校になり、中、高六年間の生活を間借りのまま終わりました。

ところが、卒業寸前にここに体育館だけ出来たのです。で、卒業式にまたこの場所に戻ってきて、私は卒業したのです。今のこの体育館よりは一回り小さい体育館でした。

### 母校着任

昭和四十五年、今度は私が国語の教師としてこの学校に戻ってきた時には、ここにはその古い体育館が残っていました。かなり傷んでいましたけれども——。私は今のこの辺りで着任の挨拶をしたわけです。その体育館も、多分その年のうちだったと思いますが、取り壊されて、今の体育館が建ちました。細

かいことを言いますと長くなりますが、出来たばかりには、このステージからこちらはなかったんです。ではステージはどこにあったのか。ステージはなかったんです。では、こ

ういう行事の時にはどうするんだ？文化祭で演劇や何かやる時にどうするんだ？生徒諸君と先生方で一生懸命組み立てるわけです。畳一畳ぐらいの台を組み立てて、幾つも並べてステージにしたのです。そのうちにこのステージができて、前よりも広々としたこの体育館になったのですが、この体育館もあと一年ほどの命になりました。皆さんと今年の四月に入ってくる人たちが、ここで汗を流す、あるいはさまざまな発表会とか式をやる、その最後の人になるわけです。多分来年一学期のうちに取り壊されて、この土地はグラウンドの一部になって、跡形もない。多分あなたたちここに汗を流し、思い出を作った人たちは、卒業したあとやってきて、土の上に立って、「ここで汗を流したんだ。ここで感激を味わったんだ。」ということになるのだろうかと思うんです。

### 立派な基礎を

今、新しい体育館が、ようやく長い基礎工事を終えて、地上に顔を出してきました。あの大きな深い穴、その中に鉄筋が敷きつめ

られ、コンクリートが流し込まれ、あれだけの基礎があれば、上にプールが載っても、大きなアリーナが建っても、ビクともしないだろうと感じます。高校時代というのは、たとえると基礎工事の仕上げの時ではないかと思うんです。その基礎の上に皆さん思い思いのデザインでさまざまな家を建てるんですよ。



前途洋々たる人生、それが地震や台風でビクともしないために、立派な基礎を築いて、この学校を巣立っていったきたい——そうお願いをしまして、私の挨拶に代えたいと思います。

平成三年三月二十五日

太田敏夫先生 略歴

- 昭和二〇年四月 都立豊島中学校入学
- 〃 二六年三月 都立文京高等学校卒業
- 〃 三〇年三月 早稲田大学第二文学部  
日本文学部卒業
- 〃 三〇年四月 文京区立第九中学校教諭
- 〃 三九年四月 都立市ヶ谷商業高校教諭
- 〃 四五年四月 都立文京高等学校教諭
- 平成 三年三月 〃 退職

異 動 (平成三年)

退職

- 大田 敏夫 (昭和四五年) 国語
- 鈴木 博彦 (昭和四八年) 英語
- 三富 圭一 (昭和六二年) 英語、嘱託

転 出

転出先

- 新井 忠興 国語 (昭和五三) 大山高校

- 小池 満 事務長 (昭和六一) 板橋高校
- 小久保清子 主事 (昭和六一) 志村高校
- 佐藤 重雄 〃 (昭和六〇) 板橋高校
- 林 勲 警備員 (昭和五〇) 光丘高校

着 任

- 秋山 慎作 国語 狛江高校より
- 山口 博士 国語 芝商業高校より
- 石井 一也 英語 向島商業高校より
- 鶴田 巨男 英語 (嘱託) 高島高校より
- 平尾 勝弘 事務長 水元養護学校より
- 新井くに子 主事 池袋商業高校より
- 国分 初美 主事 城北高校より
- 新井 和好 警備員 向丘高校より

計 報

昭和21年から51年まで30年間、数学科の中心として活躍されました横山正明先生には、平成3年8月20日、直腸の手術の甲斐もなく、お亡くなりなさいました。

田中宗作先生 (昭19) 27) 日大教授御逝去。



# 同窓生の皆様にお知らせとお願い

都立文京高等学校創立五十周年・校舎改築記念式典・祝賀会が

平成4年10月17日(土)に決定しました。

## 主な行事

- |                  |               |              |
|------------------|---------------|--------------|
| I 式典             | 午前中           | 〔関係者のみ参加〕    |
| II 祝賀会           | 午後1時30分(予定)より | 〔同窓生の有料参加歓迎〕 |
| III 創立五十周年記念誌の発行 |               | 〔学校の編纂〕      |
| IV 記念事業の実施       |               | 〔同窓会〕        |

1. 紫筈記念特集号の発行
2. 文京50年間の各種資料の収集・保存
3. 記念樹の植樹
4. 同窓生の著書・美術品・音楽作品等の寄贈
5. 他に皆様のご意見を頂き同窓会役員会で検討し

可能な事の実施

# 記念行事協賛のお願い

実行委員 末 正 明 (一B)

西 岡 弘 (一C)

若 尾 迫 治 (10A)

## 主 旨

文京高校は、第三東京私立中学校の名で昭和15年5月、現在の地に産声をあげ豊島中学・文京高校と校名を変えながら、すでに50年の歳月が過ぎ今や熟年となりました。

その間、太平洋戦争による校舎の焼失、校舎の分散学習、文京区元町小学校での間借り校舎時代（学校制度がこの時期に変わり文京高校となる）、男女共学の導入、昭和28年に現地に戻り、豊島区にありながら「文京」の名のままとなる、その後の日本経済の復興に伴い、大学進学率増加がもたらす受験戦争の激化、学校群の導入による混乱、全国的な学園紛争多発時代、進学率重視による高校の予備校化など必ずしも平坦な道程ではありませんでした。

更に今後は生徒数が減少し、学校自体の存亡が話題となることは必至であり、私立高校ではすでに生残り作戦を展開し始めておる今日、同窓会としていかに後援すべきかの論議が必要な時が来ております。

ここに、新校舎が落成し交通至便な地にありながら、ゆとりあるキャンパスと緑多い環境が整備されたことは、誠に喜ばしいことで、50周年記念を契機として文京高校のより発展を願い、同窓会活動の更なる強化が必要と思われ、同窓生の皆様に実状をご理解頂き財政的にも活動への参加の面でも、積極的なご参加をお願い致します。

## お願いのⅠ

五十周年記念誌 と 紫筍特集号 発行の原稿と資料の提供

- 発行 五十周年記念誌 祝賀式典当日  
紫筍特集号 平成4年12月〔当日の写真を掲載〕
- 期限 平成4年3月末までに原稿と資料の提供をお願い致します。
- 掲載 編集の都合で記念誌か特集号になるかは一任下さい。
- 原稿 在校当時の思い出、特筆すべき事柄など 800字以内で、原稿をお寄せ下さい、多数の投稿を期待しております。  
なお、卒業生のクラブの集り（ブラバン・音楽・鉄道研・野球・歴史・バスケット・サッカー・水泳・図書など…）の状況など代表の方は是非お寄せ下さい。
- 資料 校舎焼失・三回の移転で昭和30年代卒業までの資料が大変不足しております、より正確なより深みのある50周年記念誌編纂ができるよう、皆様のお手元にある資料をご提供頂きたいと願っております。  
入学式・卒業式・遠足・修学旅行・体育祭・文化祭などの写真・クラブ活動の記録・通知簿・生徒手帳・帽子・校章・バッジ・制服など年月日の判明しているものが最も歓迎ですが、約何年頃程度でも結構です。

別ページに記入用紙があります、ご記入の上、切取ってご送付下さい。プライバシーには注意致します、写真・品物は複製・撮影しご返却致します、返却不要の場合は学校の保存室で大切にお預り致します。

## お願いのⅡ

同窓生の著書・美術作品・音楽作品などを収集・展示・保存したいと思えます、同窓生にその様な活動をしている作家がおりましたら、是非ご推薦頂きご寄贈戴ければ、今後「文京」で学ぶ学生にとって大変な励みになるでしょう、記念事業の一貫として積極的なご賛同を期待しております、但し、収容の場所に限度がありますので大きな作品は事前にご連絡頂きご相談致したいと思えます。返信用のハガキでお知らせ下さい。

## お願いのIII

1. 50周年記念誌の予約 の申込みをして下さい。

一部 ￥3,000円… 予約の分だけ刷増ししご送付致します。

2. 祝賀会に参加 多数の同窓生の参加を期待しております。

参加費 ￥10,000円

(立食パーティー・50周年記念誌・記念品付き)

提 案 ご友人を誘い合い、この機会に新装なった母校を見学し、  
ミニ・クラス会・同期会を開いて見てはどうですか！  
(旧先生方も多数見えられると思います。)

3. 紫筍特集号の協賛金 にご協力をお願い致します。

一口 ￥5,000円 (幾口でも結構です)

毎年発行しております紫筍は、同窓会の広報として終身無料配布を基本に致しておりますので、予算に限度がありページ数が限られております。特集号は50周年当日の写真をカラーで掲載し、後世に残る充実した内容にしたいと思っておりますので、協賛金に絶大なるご協力を頂きたいと願っております。  
(協賛者名簿を掲載致します)

上記3件の申込みは返信用ハガキにご記入の上同封の郵便振替用紙でご送金下さい。

お名前（旧姓） \_\_\_\_\_

電話（連絡先） \_\_\_\_\_

在学年度 昭和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

\_\_\_\_ 年度 1 学期 主な出来事

入 学 式 \_\_\_\_\_

遠 足 \_\_\_\_\_

中 間 試 験 \_\_\_\_\_

期 末 試 験 \_\_\_\_\_

クラブ関係 \_\_\_\_\_

そ の 他 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2 学期 主な出来事

文化祭について \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

3 学期 主な出来事

卒業式 \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

切  
り  
取  
り  
線

お名前（旧姓） \_\_\_\_\_

電話（連絡先） \_\_\_\_\_

在学年度 昭和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月～ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

\_\_\_\_年度 1学期 主な出来事

入 学 式 \_\_\_\_\_

遠 足 \_\_\_\_\_

中 間 試 験 \_\_\_\_\_

期 末 試 験 \_\_\_\_\_

クラブ関係 \_\_\_\_\_

そ の 他 \_\_\_\_\_

**2学期 主な出来事**

文化祭について \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

**3学期 主な出来事**

卒業式 \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

切  
り  
取  
り  
線

不明者

同級、同期、職場の先輩、縁者等でお分りの方お知らせを。

歳は3月31日付で数えます。

42期

平2卒19歳

I

中島 美帆

H

中野 渡円

F

小山田 衛

I

平元卒20歳

I

坂本 俊一

I

増田 貴幸

I

四辻 恭平

H

佐々木典子

F

長岡 誠彦

C

森藤 映子

E

岸 竜次

C

高島 一彦

I

昭63卒20歳

I

鈴木 善一

I

津田多佳子

H

伊藤 達

G

津田 順子

F

奥村 潔

E

田中 壽道

D

富永 武雄

C

福地 誠

B

渡辺 康夫

A

尾川 学

I

佐藤 勝

H

細谷 靖

G

柴田 誠

F

伊藤 俊子

E

鈴木 英一

H

戸崎 剛

G

武石 浩美

F

諏佐 治奈

E

金子 恒頭

D

黒崎 哲央

C

進藤 卓哉

B

柳沢 茂樹

A

小田桐順一

A

高橋 慶子

G

松尾 幸子

F

吉田 恵子

E

安藏 淑峰

D

小西 麻里

C

関上由紀子

B

尼崎 晃

A

広江 久

E

高菜喜久子

D

多田由記子

C

桜井 淳

B

荒井 弥栄

A

大江由美子

G

竹本 公裕

F

安原 伸一

E

長田 志穂

D

中村 英子

C

水口 優之

B

関谷(後藤)

A

幸子

G

竹本 公裕

F

安原 伸一

E

長田 志穂

D

中村 英子

C

水口 優之

B

関谷(後藤)

A

幸子

A

水口 優之

G

佐藤まゆみ

F

館石佳生子

E

小林 隆臣

D

佐藤 周平

C

丹羽 学

B

久保田敦史

A

左 美子

F

角田 貞子

E

久保田敦史

D

山王 和子

C

鈴木とう子

B

福田 裕子

A

斎藤貴美子

I

中村 優子

H

岩瀬 真樹

G

田部井紀夫

F

吉田美智子

E

吉田 裕美

D

河原日出夫

C

藤田 久子

B

丸山 恵巳

F

山崎 勝

E

鈴木 隆信

D

山崎 勝

C

佐藤よし子

B

高津ちひろ

A

飯高 善仁

I

長阪 祐司

H

三浦 正巳

G

河井美穂子

F

永島 早苗

E

品田 雅子

D

野末 規代

C

野中さゆり

B

橋本 幸恵





A		B	
神保 喜彦	佐々木宏之	北村 京美	口岩(原田)
小久保和明	北 育昭	田村(藤井)	祥江
松島(田中)	津川(島崎)	真美	静井 惠子
寿子	神部昌久子	30期	平塚 惠
E	榎山 和代	内山 昭雄	新子 克己
新井 創士	榎山 和代	昭53卒30歳	知佐子
	高橋 秀子	鴻巢 博之	小林(矢部)
	悦子	前村 和也	上村(岡村)
	高橋 秀子	三好 健司	喜美子
	永保真由美	山口 泰彦	佐藤(小林)
	天野(丸山)	飯田 昌代	由美
	繁代	宇田 純子	富井(谷島)
		新山(川口)	佐知子
		裕子	青田 圭司
		加納 清	大島 一雄
		志波 俊明	田口 秀雄
		中野 憲行	渡辺 浩之
		渡辺 昭二	菅野(石井)
		伊藤ひろみ	直子
		榎本(沢辺)	堀山 篤子
		悦子	椎葉 淳子
		赤嶺龍太郎	斉藤(戸枝)
		大内 一雄	明子
		小山 正洋	堀口 桂子
		菅 昭彦	赤嶺龍太郎
		田山 晴彦	小泉(田島)
		不破 正広	聖子
			高橋 伴康
			国井 政芳
			工藤 和宏
			中野(松川)
			千代子
			友成(橋本)
			山本 喜一
			宮本 浩司
			藤田 陽一
			木村 義雄
			高梨(本多)
			塚村 桂
			関口 惠美
			川原 淑子
			芳美
			小田切 隆
			但馬 昭一
			玉村 寿秀
			原 雅則
			日下部まゆみ
			阿部(小柳)
			美鈴
			篠原 由美
			野崎真理子
			小田切(橋本)
			初美
			村井 明子
			遠藤 出
			長谷川忠彦
			増川 俊蔵
			青山 寿江
			市川 惠子
			川崎 優子
			加藤(倉持)
			嘉美
			長岡さゆり
			長崎るみ子
			船木 和代
			哲也
			增田 由美
			山下佳津江
			柿沼 秀幸
			木下 雅隆
			佐々木 均
			野村 秀夫
			村串 忠
			江村(金盛)
			法子
			酒井 洋子
			末吉(日吉)
			由紀
			早川 修
			山崎 昇
			野村 寿乃
			村井 明子
			博田 幸恵
			門馬 弥生
			山本圭右子
			吉川 初子
			加藤 昇英
			椿 浩和
			安田 秀人
			岡田 葉子
			折井弥代井
			阿子島 隆
			植村 典夫
			小倉 信治
			喜代 義久
			木村 富一
			坂本 浩章
			塩沢 隆
			杉目 篤治
			平松 義博
			藤田 祥二
			山口 敏
			桜井(川島)
			美弥子
			松本(酒井)
			美代子
			佐藤 恭子
			田村 朋子
			中村せつ子
			服部弥恵子
			福井とし江
			古田 肇
			高城 秀夫
			白子(伊東)
			節子
			金田(岩崎)
			みゆき
			山田(岡部)
			いさ代
			北川喜美子

28期

近藤(北郷) 中川康太郎 加藤 寿彦 三井田浩子 渡辺 裕之 広岡 信文 日出夫 田中(高木) 柳原 高文  
美由紀 藤原 秀政 児玉 誠一 神戸(吉川) 橋場(網本) 山畑 泰彦 鈴木 勇 壽美子 横田 淳一  
相川 俊一 吉田 均 文野 一雄 典子 大塚 邦子 石田美奈子 伊勢久美子 村田 秀夫 目崎 浩 中田 祐子 真弓 飯塚 幹子  
昭51卒32歳 乃里子 足立喜久子 松井 江一 荒川 則子 伊藤(板倉) 伊藤(加藤) 伊勢久美子 岩木 瑞里 石田るみ子 永井(御器) 松野 敦子 鈴木 園子 大河内(桜  
鈴木 晴夫 本間(飯田) 美勢 博央 松井 江一 荒川 則子 伊藤(板倉) 伊藤(加藤) 伊勢久美子 岩木 瑞里 石田るみ子 永井(御器) 松野 敦子 鈴木 園子 井) 智子 大内(桜  
竹内 真澄 斎藤 陽子 池本真由美 大久保邦子 伊藤(板倉) 伊藤(加藤) 伊勢久美子 岩木 瑞里 石田るみ子 永井(御器) 松野 敦子 鈴木 園子 井) 智子 大内(桜  
田中 勇 佐藤 久美 中山 優子 伊藤(板倉) 伊藤(加藤) 伊勢久美子 岩木 瑞里 石田るみ子 永井(御器) 松野 敦子 鈴木 園子 井) 智子 大内(桜  
富 哲 佐々木恵美子 梶野 英生 十河(栗原) 山田 雅子 窪田 清美 山本 和世 安達 雅之 石田 眞 潮田 幹夫 丸山 紀子 松山 紀子  
山口(菅野) 高杉 菊江 梶野 英生 十河(栗原) 山田 雅子 窪田 清美 山本 和世 安達 雅之 石田 眞 潮田 幹夫 丸山 紀子 松山 紀子  
池田(国府田) 長谷川玉美 庄司(小野) 木場 宣子 石垣 幸広 山口 恵美 江守 雅彰 押谷 眞 小嶋喜一郎 原(和田) 多恵子  
遠藤(佐藤) 井上 康雄 奈々子 屋代美香子 柴田かつみ 小田切琢磨 後藤 久司 武川 正敏 小沢 通宏 桜井 正美 小沢 智昭  
土嶋(林房子) 遠藤 明 永石(栗原) 青柳 清志 川合 京子 洞山 憲司 洞山 憲司 齊藤 洋湖 野口 英二 菅原 伸一 小津源照家  
細谷 恵子 近藤 直樹 高森代意知 沢田(川島) 綾 隠田 文恵 佐藤 正徳 戸沼 伸夫 比留間正次 福島 智 張替(山村) 舟田 昌勝  
森井 文子 飯島 三智 小林(松井) 野中 美鶴 加茂 正則 川俣 和弘 西村八寿子 山家(森田) 朱美 福島 智 張替(山村) 舟田 昌勝  
川野(荒井) 中野(金田) 碓 康雄 小川 祐三 荒賀(本田) 達子 谷島 節子 稲葉 昌子 佐藤 裕美 中村(佐藤) 石黒 弘之 牛尾 知二 林見(小沢) 美智子  
竹之内(渡) 金卷(滝川) 田中 典宏 根本 伸一 阿部(武藤) 渡辺佳代子 谷島 節子 稲葉 昌子 佐藤 裕美 中村(佐藤) 石黒 弘之 牛尾 知二 林見(小沢) 美智子  
部) 由香 栄子 西岡 正弘 阿部(武藤) 渡辺佳代子 谷島 節子 稲葉 昌子 佐藤 裕美 中村(佐藤) 石黒 弘之 牛尾 知二 林見(小沢) 美智子  
青木 秀夫 金成(松原) 増田 治行 森 幸治 匡彦 阿部(武藤) 渡辺佳代子 谷島 節子 稲葉 昌子 佐藤 裕美 中村(佐藤) 石黒 弘之 牛尾 知二 林見(小沢) 美智子  
菊地 広文 滋子 鶴岡(川井) 山口 一彦 関本 志貴 富田 功 中森(佐藤) 登志子 田村 義一 勅使川原(

27期

昭50卒33歳 千枝 山田 雅子 窪田 清美 山本 和世 安達 雅之 石田 眞 潮田 幹夫 丸山 紀子 松山 紀子  
27期 山田 雅子 窪田 清美 山本 和世 安達 雅之 石田 眞 潮田 幹夫 丸山 紀子 松山 紀子  
27期 山田 雅子 窪田 清美 山本 和世 安達 雅之 石田 眞 潮田 幹夫 丸山 紀子 松山 紀子

H

谷本 一成 輝代 酒井 清子 湯沢 一夫 富田 功 中森(佐藤) 登志子 田村 義一 勅使川原(

I

池田(国府田) 長谷川玉美 庄司(小野) 木場 宣子 石垣 幸広 山口 恵美 江守 雅彰 押谷 眞 小嶋喜一郎 原(和田) 多恵子

G

遠藤(佐藤) 井上 康雄 奈々子 屋代美香子 柴田かつみ 小田切琢磨 後藤 久司 武川 正敏 小沢 通宏 桜井 正美 小沢 智昭

F

加藤 寿彦 三井田浩子 渡辺 裕之 広岡 信文 日出夫 田中(高木) 柳原 高文

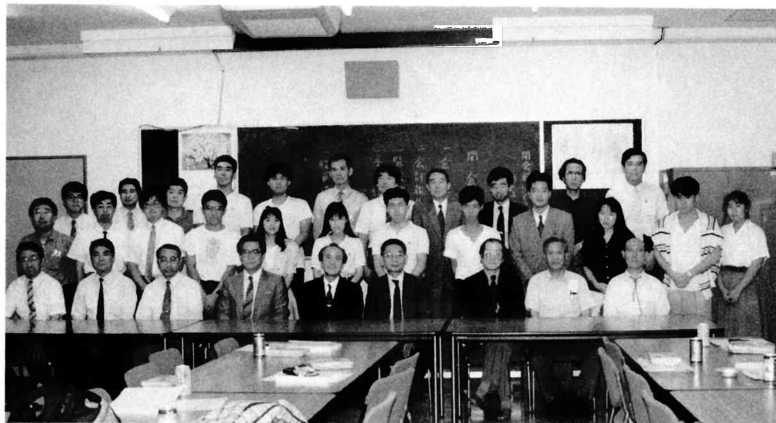
E

梶野 英生 十河(栗原) 山田 雅子 窪田 清美 山本 和世 安達 雅之 石田 眞 潮田 幹夫 丸山 紀子 松山 紀子

D

黒川 雅彦 小川 祐三 荒賀(本田) 達子 谷島 節子 稲葉 昌子 佐藤 裕美 中村(佐藤) 石黒 弘之 牛尾 知二 林見(小沢) 美智子

金杉(郁子)	島村 宣行	塚本(渡辺)	葉 惠麗	森田 崇資	橋本 良志	典子	野々村忠男	白根久保田
竹内(杉原)	鈴木 春樹	昭子	和田由美子	源島 恵子	寺崎(磯前)	北原(長尾)	林 誠	葉子
晴美	村井 公一	青木 道弘	川上 真二	清野真理子	枝里	都奈子	布施 治雄	高橋(小玉)
小崎(須田)	矢島 逸男	円本 明	重田 曜	伊藤 正	庵(須賀)	矢部(仁科)	安松 真一	くるみ
裕子	稲富(飯村)	大沢 健男	鈴木 武臣	清田 洋一	谷口 弥生	奥(平野)	山本 展之	岩瀬(橋本)
大蔵(田村)	俊子	亀井 俊一	南 順朗	齊藤 雅信	石川 貴之	野口(増野)	若原 卓	美歌子
明美	石田 弘美	川名 博	村田 耕一	椎木 宏	小林 武夫	松永 京路	石井理英子	小林(藤原)
佐々木(野)	稲田 初枝	小長谷 毅	吉田 和正	村野 勝明	山田 重博	渡辺 満広	栗林 妙子	信子
沢)和子	佐々木則子	酒井 隆久	家田 裕子	山田 重博	橋本(安達)	永井(浅川)	松永 京路	丸山 敦子
藤原(日向)	高橋 和子	塩沢 泰晴	清水(伊藤)	橋本(安達)	文江	関 雅人	坂本 政枝	三野志津子
野)満喜子	美野輪由子	永江 敏則	智子	伊藤 京子	東 由美子	西脇 英治	関根 啓子	宮城美根子
舟田(松本)	室田 恵子	嶺村 功	上村由美子	岡田富士子	芝田(池田)	山中 猛	中野 和子	今井 透
菊美子	渡辺チアキ	藤原 絹江	千田美紀江	片平美根子	良江	三本松(秋元)	武藤(松原)	榎田 勝也
A	岩田 正徳	加藤 敏明	姫野 敦子	館岡(清水)	岩井真理子	由利子	持田 尚美	梶野 恭司
佐野 明	斉藤 一彦	鈴木 敦子	丸山(山口)	眞理子	加藤 道代	川田 尚子	岡田 善紀	杉崎 優
岩田(恩田)	高井 徹也	高木 令子	山本 秀子	竹田 誠子	後藤(金井)	田島 則子	加藤 久豊	関 誠
美八子	多田 弘	米村(田中)	岩切 清治	伊藤(田中)	由記子	手塚 公子	清原 毅	松井 康弘
浜田 敏子	中山 秀一	嶺村(田中)	岩本 祐司	中沢(藤野)	山岸(斉藤)	伊藤(薫)	下河 清照	松村 敏和
前田 晶子	直海 浩之	千恵子	岩本 祐司	明美	美代子	俊子	鈴木 健二	間宮 章一
吉野 正一	吉野 正一	服部 友美	小高憲太郎	武井(丸木)	仲村(清水)	昭48卒35歳	村谷昭一郎	355~189頁(男迄)
中村(相場)	由美子	早川智恵子	佐藤 康夫	裕美	登世美	昭48卒35歳	藪田 正彦	不明者が多いと
植木 明	藤原(中村)	昼間のり子	谷島 学	裕美	鈴木 房子	昭48卒35歳	山田 功	さびしいです。
大西 弘晃	久保田 守	町田 裕子	中野 憲一	石原 宏紀	塚田 昭子	白土 博司	渡辺 信吾	同期会、級会を
古賀 一哉	内田(森田)	武川 高子	中村 卓嗣	上原 和彦	鈴木(塚田)	中野 卓郎	浅川 恵子	開いて下さい。
佐野 芳裕	美智子	小平(山田)	増岡 孝治	太田 鉄也	鈴木(塚田)	中野 卓郎	門元 順子	
		理恵子						



同窓会幹事会 (H3.6.19)

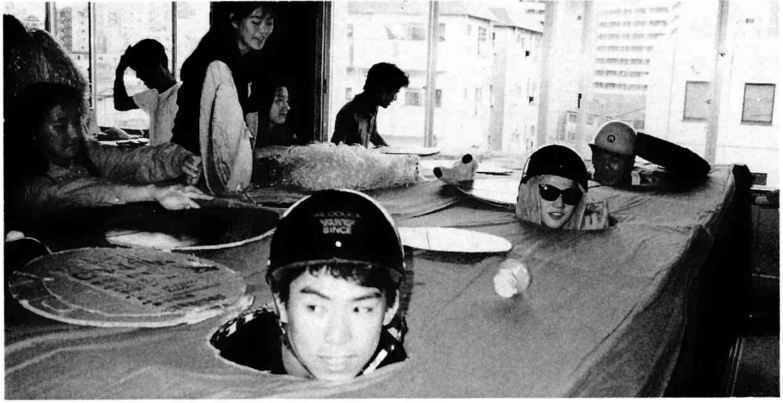


五十周年記念行事打合わせ会  
(学校、同窓会、市三会、PTA、H3.10.18)



紫雲祭 (H3.9.28~29)

→ 文化祭(ゲーム)



美術室  
↓



スポーツ大会 (H3.3.6)  
(運動会は中止)  
↓





卒業生進路状況 ー 2 ー

(4) 専門学校・各種学校

学 校 名	現役	浪人	合計	学 校 名	現役	浪人	合計
J R 東京総合病院高等看護学校	1		1	朝日コンピュータスクール	1		1
帝京高等看護学院	1(1)		1(1)	英国国際情報専門学校	2(2)		2(2)
東京都立大塚看護専門学校		1	1	音響技術専門学校	1(1)		1(1)
東京都立豊島看護専門学校	1(1)		1(1)	中央工芸専門学校	3(2)		3(2)
東京警察病院付属看護専門学校	1		1	東京都立高等職業訓練校	2		2
東京都立板橋看護専門学校	2		2	東京都立板橋職業訓練校	1		1
東京都立松沢病院看護専門学校	1		1	東京都立橋本職業訓練校	1(1)		1(1)
日本歯科大学看護専門学校	1		1	東京放電専門学校	1(1)		1(1)
東京歯科大学衛生専門学校	1(1)		1(1)	東京写真専門学校	1		1
新潟医療技術専門学校	1(1)		1(1)	東京電子科学工業専門学校	2		2
千葉大医学部付属診療放射線技師専門学校		1	1	東京電気専門学校	1(1)		1(1)
お茶の水医療秘書歯科助手専門学校	1		1	東京電機専門学校	1		1
東京医療秘書専門学校	1(1)		1(1)	東京工業専門学校		1	1
東神田外語学院	1(1)		1(1)	日本電子専門学校	1		1
渋谷外語学院	1(1)		1(1)	日本工学院専門学校	3(1)		3(1)
駿台ELS英語学院	1		1	工学院大大学院	1		1
東京YMCA英語専門学校	3		3	早稲田大学		1	1
東京外国語専門学校	1(1)		1(1)	東京美容専門学校	1		1
日本外国語専門学校	1		1	日本美整容専門学校	1(1)		1(1)
大原簿記学校	2		2	東京デザイン専門学校	1		1
駿台トラベル専門学校		1	1	東京YMCAデザイン研究所	2(1)		2(1)
津田スクールのビジネス	2		2	淑徳保育文化専門学校	1(1)		1(1)
東京スクールのビジネス	1		1	聖徳大学幼児教育専門学校	1(1)		1(1)
東京国際ビジネス専門学校	1		1	都立練馬高等保育学院	4		4
東京情報ビジネス専門学校	4(3)		4(3)	東京福祉専門学校		1	1
東京法科学院専門学校	2		2	日本福祉教育専門学校	1		1
東京バシフィックビジネスカレッジ	1		1	東京YMCA社会体育専門学校		1	1
東京科学電子ビジネス専門学校	3(2)		3(2)	あべの辻フランチ料理専門学校	1		1
東京法律専門学校	1		1	エコーレキョーリョク国立	1		1
東京観光専門学校	1		1	服部栄養専門学校	1		1
東京大泉タイピスト専門学校	1		1	日本動物植物学	1		1
東京商科学院専門学校	3(1)		3(1)	東京コンセルヴァトール尚美専門学校	1		1
東京会計専門学校	1(1)		1(1)	PAN SCHOOL OF MUSIC	2		2
中野スクールのビジネス	2(1)		2(1)	橋バレエ専門学校	1		1
日本ホテルスクールのビジネス		1	1				
青山製図専門学校	1(1)		1(1)	計	88	9	97
				うち推	(30)		(30)

(5) 就職予定者 民間 (平成3年4月調) (卒業後の就職統計)

氏 名	企 業 名	氏 名	企 業 名
北本健司	東京イサキ自動車	中村月望	優美
渡辺惣一	都都ホテル	望月理美	映日
石井内幸	富田士	安田さつき	東日
三井和章	富田建設	島田良博	産日
土屋芳幸	福光商	福山博子	角丸
栗原英郎	銀座東急	藤沢真紀	証券
西原あゆみ	㈱レンフ・スポーツ・サービス	石井文子	販売
柴田真樹子	コスモ石油	渡辺美子	一
関田恵子	第一証券	小山綾子	都
高橋由紀子	日本電気コンピューターシステム		東

(6) 就職予定者 公務員関係 (平成3年4月調)

氏 名	官 公 庁 名	氏 名	官 公 庁 名
佐々木高太	都	谷京子	国(郵政)
青柳尚美	都	星野夕美	国(農水省)
升岡尚美	都	沢昌弘	警察官
南部さつき	区(北区)	田結弘	衆議院事務
土屋芳幸	福光商	増田伸吾	区
海美江	国(外務省)	田中宏	区

(7) 都立高等職業技術専門学校 (平成3年4月調)

氏 名	学 校 名	氏 名	学 校 名
小原裕子	板橋校(情報処理)		
升岡尚美	板橋校(情報処理)		

**静谷クリニック**

(内科)

四期B 静谷晴夫

〒170 豊島区西巢鴨4-6-2  
Tel(医院)3910-1136・(自)3910-1219**虎の門日比谷クリニック**(皮膚科・泌尿器科・形成外科)  
健保扱い

一期C 山中秀男

(自)〒152 目黒区本町4-8-20  
〒105 港区虎ノ門1-1-20  
虎ノ門実業会館5階  
Tel(医院)3508-2508・(自)3714-9518**弁護士**

一期A 渡辺剛彰

〒113 文京区西片2-12-23  
Tel(事)3814-1984・(自)3811-7704東京都北区議会議員待遇者  
医療法人(植原会)理事長  
王子税理士会顧問**税理士**

四期E はいばら富士雄

〒116 北区志茂1-17-13  
TEL 3901-8554**銀座菊地病院・救急病院**(内科・外科・整形外科・皮膚泌尿科)  
婦人科・人間ドック・検診

院長 二期A 湖山 聖道

〒104 中央区銀座7-13-15  
Tel(病院)3541-1151  
(自宅)3465-6113**同窓有志の集い****市三會**世話人 一期B 末 正明  
一期B 栗原正昭  
4期E 榎本幸三**河合楽器株**

三期E 柴田哲夫

〒153 目黒区中町1-7-1  
Tel(自)3719-0520  
(会)3504-3551**財水戸市公園協会 理事長**

二期A 宮 嶋 敬 夫

〒310 水戸市千波町2365-22  
Tel(自)0292-41-2079  
(動)0292-44-2888**出光ガソリン・貸ビル  
自動車販売整備**

(市三會会長)

飯田橋・神保町

一期B 末 正 明

〒112 文京区後楽2-6-1  
Tel(会)3261-5111・(自)3811-0755**那須高原のレジャーランドパーク  
りんどう湖ファミリー牧場**

常務取締役

二期B 小 暮 精 一

〒325-03 栃木県那須郡那須町高久414-2  
Tel 0287-73-3111**馬橋稻荷神社 宮司**

二期B 本 橋 久 徳

〒166 杉並区阿佐ヶ谷南2-4-4  
Tel 3311-8588**株式会社 八 洲**

一期B 川 上 光 男

〒114 北区王子本町2-11-6  
Tel(会)3909-3211・(自)3815-2839**中村クリニック**

三期B 中 村 博

〒170 豊島区南大塚2-32-3  
Tel(自)3944-4103・(医院)3945-8072**弁護士**

二期E 早 川 律 三 郎

〒150 渋谷区神宮前2-30-5  
原宿キャステル 209号  
早川律三郎法律事務所  
Tel 3 4 7 5 - 0 3 3 0**(株)栗原製作所**

(各種ディスプレイ企画製造)

一期B 栗 原 正 昭

〒111 台東区元浅草4-5-5  
Tel3841-2515(代)**株サトウケミカル(入浴剤製造)**

四期C 佐 藤 佳 男

〒352 新座市野火止8-16-7  
Tel(会社)0484-81-2323  
(自宅)0484-74-8456**産 婦 人 科**

三期E 小 室 陽 一

〒114 北区岸町1-12-22  
Tel(医院)3907-0303・(自)3907-0280**中村耳鼻咽喉科医院**

一期C 中 村 信 成

〒281 千葉市幕張町6-288-3  
Tel(医院)0472-73-7026  
(自宅)0472-72-6625



**一級建築士**

19期 I 加藤友和  
〒115 北区赤羽 2-56-10  
加藤友和建築設計室  
Tel 3903-4710  
〒351 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409  
Tel 0484-74-2085 (自宅)

**(株) 東武百貨店**  
広報室

15期 E 渡辺芳夫  
〒161 新宿区中落合 3-1-19-402  
Tel (自) 3954-1433  
(会) 3981-2211

**静谷歯科医院 (歯科一般)**

4期 D 静谷栄夫  
(午前) 〒170 豊島区駒込 3-11-3  
Tel 3915-1108  
(午後) 〒170 豊島区西巢鴨 3-8-15  
Tel 3915-0072

**アトリエ.ラ.ダンサ**

21期 G 小林伴子  
〒169 新宿区高田馬場 4-14-6  
第二長谷川ビル B 1  
アトリエ.ラ.ダンサ  
Tel (勤) 3360-9281  
(自) 0484-44-6627

**税理士**

18期 C 野中 滋  
〒170 豊島区駒込 1-3-802  
中根宏税理士事務所  
Tel 3945-8594  
自宅 豊島区東池袋 2-52-1  
Tel 3982-6492

**鈴木金属工業株式会社**  
取締役

4期 D 鷺田吉秀  
〒281 千葉市宮野木町1551-21  
Tel (自) 0472-51-0833  
Tel (会) 0474-76-3111

**(株) トキタ**  
代表取締役

26期 C 時田公代  
〒174 板橋区坂下 1-17-19  
Tel (自) 5392-3772  
(会) 3960-7701

**松栄(靴下・婦人下着小売)**

18期 G 松井好彦  
〒111 台東区浅草橋 1-21-1・松栄  
Tel (会社) 3866-9711  
(自宅) 0473-36-2395

**弁護士**

7期 D 大辻正寛  
事務所 〒102 千代田区九段北  
1-9-14 九段ハイム707号  
TEL 3239-4099  
FAX 3221-9460  
自宅 〒274 船橋市三山1-11-15  
TEL 0474-75-9401

**斉藤商店(精肉・食品卸)**

29期 斉藤智夫  
〒112 文京区白山 5-1-15  
(会社) TEL 3815-5771  
(自宅) TEL 3815-0029

**宮本智法律事務所**  
弁護士

18期 H 宮本 智  
〒169 新宿区北新宿 1-8-23  
アムヘッドビル 7階  
TEL (事) 5386-6911  
TEL (自) 3926-5354

**丸山歯科医院**

8期 B 丸山 記久麿  
〒113 文京区本駒込 5-44-2  
TEL (自) 3821-2294  
(医院) "

**(株) コラージュ**  
(各種イベント企画・市場調査)  
代表取締役

37期 H 佐藤高史  
〒 港区六本木 7-11-20  
サンリバー六本木 208  
Tel 3402-0819 FAX 3402-6387

**国民金融庫 小諸支店**

18期 J 小島康正  
〒384 小諸市乙1114番地12  
TEL (自) 0267-23-0431  
(会) 0267-22-2591

**清水建設(株)**  
前橋土木営業所

9期 A 所 矩雄  
〒277 柏市中新宿 3-6-11  
TEL (自) 0471-75-1339  
(会) 0272-34-8211

今回をもちまして、名刺掲載の賛助金は、事務的理由で終らせて頂きます。どうも有難うございました。

**星野家具店**

19期 E 星野久男  
〒173 板橋区仲宿 40-4  
Tel 3961-9567

**北部製糖株式会社**

9期 F 仲田 晋  
〒900 那覇市楚辺 231  
TEL 098-855-3378 (自宅)  
098-867-0501 (会社)

平成3年度  
予 算 案

〔収 入〕	9,111,915円
繰越金	2,459,915円
利息	920,000円
会費(12,000×436)	5,232,000円
その他(賛助金・奨学金など)	500,000円

〔支 出〕	6,668,200円
経常費	4,568,200円

各部(名簿・会報各5,000) 事務手当(10,000×4) 名簿(590部とバラ) 会報(39×13,800) " 送料(72×12,500) " 宛名書き(140,000円) " 発送費(100,000円)	}	50,000円
		1,700,000円
		538,200円
		900,000円
		240,000円
		180,000円
		100,000円
		80,000円
		100,000円
		360,000円
70,000円		
50,000円		
200,000円		
基本財産	2,000,000円	
会館建設基金	100,000円	

〔繰越金〕	2,443,715円
-------	------------

住所 豊島区西巢鴨1-1-5  
 〒一七〇 三九一〇一八二三一  
 郵便替番号 東京 0...62011  
 印刷 シミズ印刷 三三八二一―一六三五

平成3年12月20日刊

紫 笥 第34号

都立文京高等学校同窓会会報

平成2年度  
都立文京高等学校同窓会会計報告

平成2.6.7～3.5.15の間の会計は次の通りです。

平成3年5月15日 会長 渡辺 剛彰  
 会計 太田 敏夫  
 監査の上、正確であることを認証します。  
 平成3年5月22日 会計監査 横沢 靖夫  
 " 野中 滋

1. 財産目録(3.5.15)

イ. 基本財産	23,800,000円
ロ. 現金	2,459,915円
ハ. 物品	
①両開き書庫4 ②書類入れ1	
③金庫2 ④手提金庫1 ⑤机2いす1	
⑥ファイル1 ⑦ストープ1	
⑧カメラ3 ⑨三脚1	
ニ. 郵便口座	0円
ホ. 奨学基金(含累積利息)	4,825,985円
ヘ. 会館建設基金(" )	2,884,575円
ト. 50周年基金(" )	3,691,619円

2. 現金

イ. 収 入	9,046,461円	
繰越し	2,206,067円	
会費(2年度卒11,500×428)	4,922,000円	
利息	926,335円	
郵便振替	948,890円	
その他(賛助金・奨学金・名簿代など)	43,169円	
ロ. 支 出	6,586,546円	
経常費	4,506,546円	
各部・事務手当 名簿(2,600×580とバラ346組) 会報(39×13,400) " 送料(72×12,396) " 宛名書き・発送 学校案内(88×2,000) 後援費 表彰(36名) 運営費 通信・交通費 記録・写真費 封筒(13,000) アンケート用紙(12,500) 慶弔費 その他(鏡移設費など)	}	50,000円
		1,679,672円
		522,600円
		892,512円
		240,000円
		176,000円
		40,000円
		360,000円
		118,184円
		70,570円
64,508円		
78,000円		
50,000円		
0円		
164,500円		
基本財産	1,800,000円	
会館建設基金	100,000円	
奨学基金	180,000円	
ハ. 繰越し	2,459,915円	